

JPFF 実践的 FD プログラムによる VOD 学習のためのカリキュラム・マップ

項目	内容	JPFF VOD 科目
1.FD について知る	1-1.大学における FD 活動を理解する。	FD 概論 I 高等教育論 III
2. 学習活動の設計	2-1.教授と学習に関する一般的理論を理解する。 2-2.学生はいかに学ぶかを理解したコース設計ができる。 2-3.学習者中心の授業の設計と計画ができる。 2-4.学習者中心の授業に必要な目標設定とその適切な記述ができる。 2-5.学習者中心の授業において適切な評価観点の設定と評価方法の選択ができる。 2-6.アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の設計と計画ができる。	高等教育論 I 教育方法論 II 授業設計論 I
3. 教授および学習活動の展開	3-1.高等教育において学習者中心の授業を実践するための教授・学習方略、方術を理解する。 3-2.学習を支援する様々なテクノロジーの特徴、利用方法を理解し、授業に用いる。 3-3.学習展開に応じて柔軟に授業を修正・転換ができる。 3-4.学生と協同して授業を進めることに意欲をもつ。 3-5.専門分野における調査研究や実践のプロセス、成果を積極的に授業に取り込む。 3-6.アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の実施ができる。	高等教育論 II 教授学習理論 I 教授学習理論 II 教授学習理論 III 教育方法論 V

4. 授業の質の保証	<p>4-1.教授・学習方略、方術に応じた教育効果の評価方法を理解する。</p> <p>4-2.客観的かつ厳格な成績評価ができる。</p> <p>4-3.教育効果の評価結果について学生に効果的なフィードバックができる。</p> <p>4-4.自らの授業や実践を省察し、改善することができる。</p> <p>4-5.アクティブ・ラーニングを取り入れた授業の評価ができる。</p>	<p>教育評価論 I</p> <p>教育評価論 II</p> <p>教育評価論 III</p> <p>教育方法論 IV</p> <p>教育方法論 V</p>
5. 効果的な学習環境 および学習支援環境 の開発	<p>5-1.学習コミュニティの形成を促進する。</p> <p>5-2.様々なメディアやツールを活用し、効果的な学習環境の整備や学習支援ができる。</p> <p>5-3.学習支援のためのツールや環境の開発ができる。</p>	<p>高等教育論 VI</p> <p>教育方法論 VI</p>
6. 自己の専門性の継続的な発展	<p>6-1.学生の多様性を認め、尊重する。</p> <p>6-2.自らのキャリアの設計との継続的な開発に努める。</p> <p>6-3.大学教員集団の一員として働く。</p> <p>6-4.常に高等教育や教授法に関する新しい知識を取り入れることに努める。</p>	<p>心理学 I</p> <p>心理学 II</p> <p>心理学 III</p> <p>心理学 IV</p> <p>大学管理運営 I</p> <p>大学管理運営 II</p> <p>プロジェクト・マネジメント</p>
7. 大学固有の必要とされる力	<p>7-1.日本大学の教学について理解する。</p>	<p>大学管理運営 VII</p> <p>大学管理運営 VIII</p> <p>(日本大学の VOD)</p>